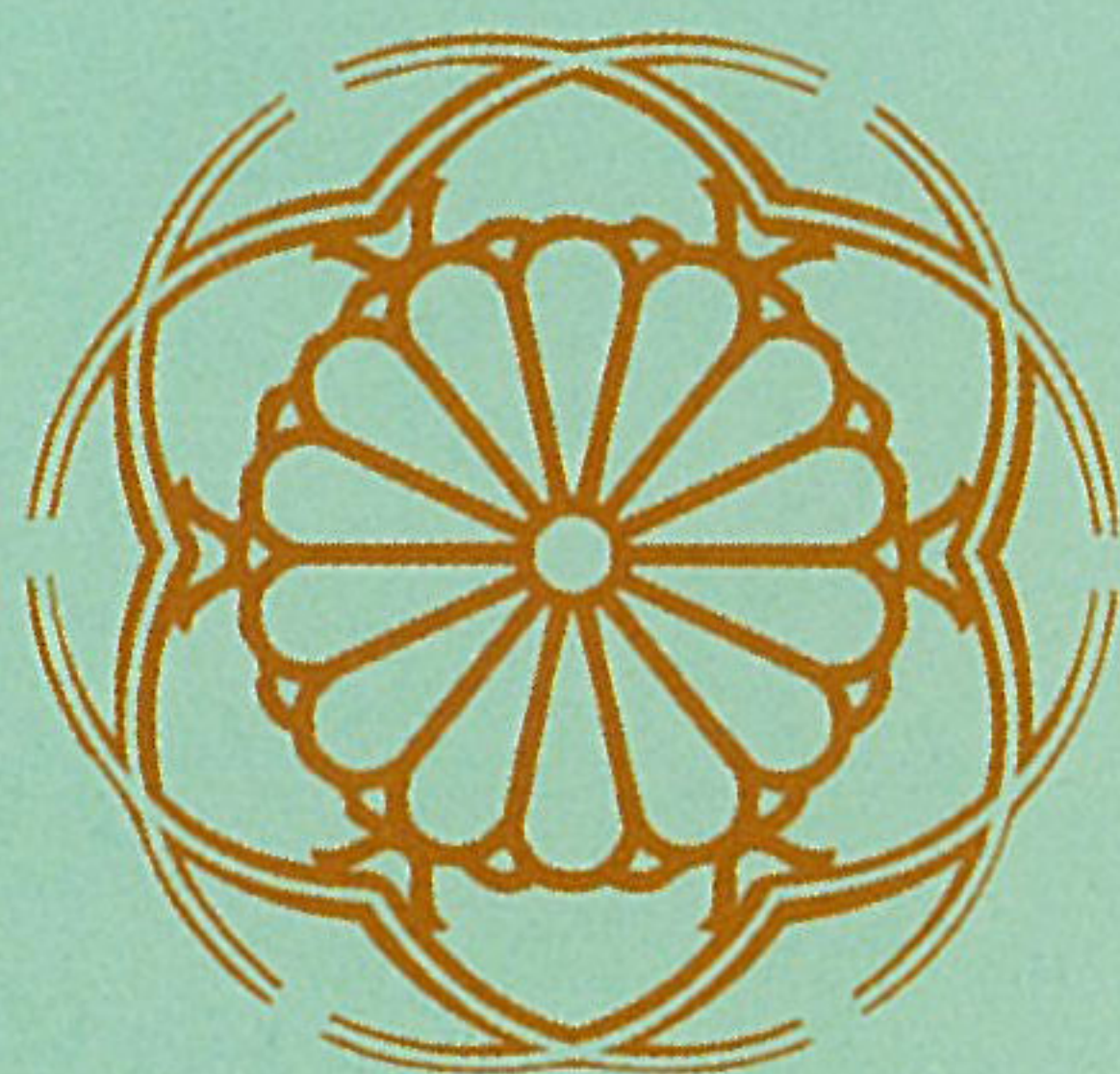


社団法人
秩父宮会

入会のご案内



秩父宮家ゆかりの会

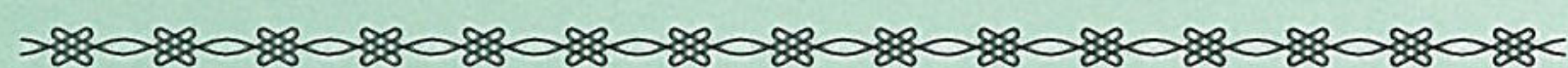
ご入会をお待ち申し上げております



◆ 秩父宮両殿下御尊影レリーフについて

秩父宮両殿下のレリーフは、秩父宮両殿下のご遺徳を永く後世に伝えることを目的として、昭和8年夏に両殿下お揃いで奥秩父にご登山のみぎりに、御みずから命名された「霧藻ヶ峰」^{きりもがみね}に秩父宮会と秩父山岳連盟が主唱して建設を進めたもので、親王殿下のレリーフは昭和29年7月1日に、また勢津子妃殿下のレリーフは平成12年8月22日にそれぞれ竣工・除幕式が行われました。

毎年6月初旬には、奥秩父山開式が本レリーフ前で行われています。



宮家を尊び郷土を愛するために

本会では、秩父郡市内に在住の皆様をはじめ、広く本会の活動趣旨にご賛同いただきます個人・各種企業・団体のご入会を随時受け付けております。

ご入会をご希望の方は、秩父神社内の社団法人秩父宮会事務局（☎0494-22-0262）までお問い合わせ下さい。

秩父宮家と秩父宮会について



秩父宮勢津子妃殿下



秩父宮雍仁親王殿下

謹描
根岸敬氏

明治35年6月25日、大正天皇の第二皇子としてご生誕された^{あつのみやすひとしんのう}淳宮雍仁親王殿下には、大正11年ご成年に達せられた折りに秩父宮家をご創立されました。秩父連山は武蔵国の名山であって遠く^{やまとたけるのみこと}日本武尊の伝承など神話の時代より皇室とのゆかりも深く、これにちなんでの宮号とされています。宮家ご創立の年の秋、賢くも秩父宮殿下には親しく秩父地方にお成りになり、秩父神社をはじめ、三峯神社、寶登山神社にご親拝されました。その後、昭和3年9月には、初代の参議院議長などの要職を歴任された松平恒雄氏のご長女、勢津子姫とご結婚。昭和8年夏には、両殿下お揃いで約一週間ほど秩父にご滞在されました。

昭和天皇のご名代として、多くのご公務にあたられる一方で特にスポーツを愛好され、アルプス登頂など関係のご事跡も数多く、「スポーツの宮様」として広く国民に慕われましたが、昭和28年1月4日、50歳にして^{こうきょ}薨去されたことから、そのご遺徳を永く^{けいごう}敬仰すべく、秩父郡市民の総意をもって社団法人秩父宮会を結成致しました。この際、秩父宮勢津子妃殿下には特別のご^{ちよつきょ}聴許をもって、親王殿下がご成年式のみぎりに大正天皇より拝領された御劔を秩父宮会にご下賜されたことから、本会ではこれを親王殿下の御霊代として秩父総社である秩父神社に奉斎し、毎年5月3日に宮様の御霊祭を斎行するとともに、平成7年8月25日に薨去された勢津子妃殿下のご聖恩にも応えるべく、両殿下の慰霊・顕彰事業を進めております。

一般社団法人秩父宮会

会長 藺田 稔（秩父神社宮司）